

安全データシート (SDS)

製品及び会社情報

製品名 モノタロウ タッピングスプレー
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M160324

作成日

2016/3/23

危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性・引火性ガス 区分1

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷、刺激 区分2A

吸引性呼吸器有害性 区分1

特定標的臓器、全身毒性（単回暴露） 区分3

※上記の項目で「区分外」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかに該当するものは記載省略。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

極めて可燃性/引火性の高いガス
熱すると爆発する恐れ
重篤な眼への刺激性
眠気またはめまいの恐れ
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険の恐れ

注意書き

応急措置 p. 2に記載
取り扱い p. 2に記載
保管 p. 2に記載
廃棄 p. 4に記載

物質の特定

単一製品・混合物の区別
製品の種類
成分
C A S N o .
国連番号及び国連分類
労働安全衛生法
消防法
P R T R

混合物
不水溶性切削油剤
鉱油、添加剤(塩素化合物含む)、噴射剤(LPG)
企業秘密のため非公表
1950、クラス2.1
通知対象物：鉱油(30～40%)、ブタン(噴射剤)
第4類第3石油類 危険等級Ⅲ
非該当

危険有害性	危険性 高圧ガスが入っているので、加熱・衝撃などにより破裂する危険性がある。 非常に燃えやすい液体およびガスが入っている。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。 有害性 液化ガスが皮膚に触れると炎症や凍傷を起こす。 塩素化合物を含み、燃やすと有毒ガスが発生する恐れあり。
応急措置	目に入った場合 直ちに清浄な水で15分以上洗浄する。まぶたの裏まで完全に洗浄後速やかに医師の診断を受ける。 皮膚に付着した場合 水及び石けんを使用して、十分に洗い落とす。 吸入した場合 大量に吸い込んだ場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移して安静にする。直ちに医師の診断を受ける。 飲み込んだ場合 安静にして直ちに医師の診断を受ける。 口の中が汚染されている場合はよくゆすぐ。
火災時の措置	消火方法 適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 可燃物を周囲から速やかに取り除く。 高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。 消火活動は風上から行う。 高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は十分に距離を取る。 消火剤 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂 棒状の水は火災拡大を引き起こす恐れがあるため、使用しない。
漏出時の措置	1. 適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 2. 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 3. 廃棄物等は関係法規に基づいて処置をする。 4. 付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 5. 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。 6. 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。 7. 乾燥砂、土、ウエス等に吸着させて回収する。 8. 大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。 その際、土壌、河川、湖沼、海、下水道等に排出されないように注意する。
取扱い及び 保管上の注意	取扱い 1. 換気のよい場所で取り扱う。 2. 周辺で火気、スパーク等の発火源となるものや高温物の使用を禁止する。 3. 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。 4. 40℃以上の場所、火気のある場所では取り扱わない。 5. 40℃以上に暖めない。 6. 30秒以上の連続使用をしない。 7. 密閉された場所での作業の場合、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を着用する。 8. 内容物を眼、皮膚に接触させない。 9. 炎に向けて使用しない。 10. 使用後は手洗い、うがいを十分する。 保管 1. 直射日光を避け、屋内の火気、熱源がない涼しい場所で保管する。 2. 水回りや高湿度の場所での保管は避ける。 3. ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。 4. 子供の手の届かない所に保管する。

暴露防止措置 管理濃度及び許容濃度

		鉍油(鉍油ミストとして)...
管理濃度(2012年度)		規定なし
許容濃度	日本産業衛生学会(2014年度)	3mg/m ³
	ACGIH(TLV-TWA 2011年度)	5mg/m ³

- 設備対策
1. 局所排気装置をつけて、ミストが滞留しないようにする。
 2. 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。
 3. 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。
 4. 取扱い場所の近辺に洗顔及び身体洗浄のための設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具	呼吸系の保護具	スプレーを行う場合は、適切な保護マスクを着用する。
	目の保護具	保護眼鏡を着用する。
	皮膚・身体の保護具	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の保護手袋、保護着を着用する。
	その他の注意事項	着衣が内容物で濡れた場合は、直ちに着替える。 濡れた着衣は洗濯してから着る。

物理/化学的性質	原液	外観	淡黄色透明液体
		揮発性	低い
		比重	0.92g/cm ³ (15℃)
		引火点	180℃
		発火点	データなし
		爆発特性	データなし
	噴射剤	溶解性	水に不溶
		外観	無色透明液体
		臭気	無臭
		沸点範囲	-42.1~-0.5℃
		蒸気密度	1.9~2.5kg/m ³ (1atm15.6℃)
		融点	-187.8~138.4℃
		密度	0.543g/cm ³
		蒸気圧	1.3~0.3MPa (40℃)

危険性情報	反応性	特にないが40℃以上になると缶が破裂する恐れがある。
	安定性	安定
	その他	燃焼等により有害ガス発生する。不完全燃焼した場合、一酸化炭素を発生することがある。

有害性情報	眼刺激性	刺激性のある恐れがある。
	皮膚刺激性	長期、または繰り返して接触すると刺激性のある恐れがある。
	急性毒性	鉍油 経口 LD ₅₀ >5000mg/kg(ラット 推定値)
	発がん性	鉍油はIARCグループ3に分類されている。

環境影響情報	漏洩時及び廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。 土壌、河川、湖沼、海、下水道等に直接流れないように注意する。
--------	---

廃棄上の注意	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適正に処理する。 燃焼すると有害な塩素系ガスが発生するため、知事の許可を受けた産業廃棄物業者 もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。	
輸送上の注意	共通 取り扱い及び保管上の注意の項に従う。 容器に漏れの無いことを確かめ、転落、落下、損傷がないように積み込み 荷崩れ防止を確実に行う。 運搬に際しては容器を40℃以下に保ち、転落、落下、損傷がないように注意する。 陸上運送 消防法、労安法の定めるところに従う。 海上運送 船舶安全法の定めるところに従う。 航空輸送 エアゾール製品の場合、航空法では輸送できないものになっており注意する。	
適用法令	消防法 船舶安全法 航空法 労働安全衛生法	第4類第3石油類 危険等級Ⅲ 危険物（高圧ガス） 一般に使用されているエアゾール製品は航空法では輸送できない。 施行令 危険物（引火性のもの、可燃性のガス） 鉱油、ブタン（通知対象物）
参考文献	1. IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33 2. 化学物質の許容濃度等の勧告（2014年度版）日本産業衛生学会 3. Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH（2011） 4. 製品安全データシートの作成指針（日本化学工業協会） 5. 新版 危険・有害物便覧 P. 528, 690	
注意事項	安全データシート(SDS)は通常の取り扱いを想定して作成したものです。 SDSは安全の保証を約束するものではありません。 取扱者は状況に応じた処理を行ってください。 SDSの内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。	